

中退、休学、不登校への大学の 取組と課題 ～学生支援の実践から

2013. 10. 22

東北大学 高等教育開発推進センター 教授

学生生活支援部・学生相談室

吉武 清實

1

危機としての大学生期 躓きへの支援

- 事例A: 入学早々にひきこもった理系男子学生の例

- Aの学業へのリスタートを助けたものは

◇ソーシャルサポート(‘良縁の結び目’):

父親、
学生相談室(学生相談所、カウンセリングセンター)、
専攻の教授、
同様に過年度の学生

2

危機としての大学生期 躓きへの支援

- 事例B: 1, 2年次教育で躓きを繰り返した理系男子学生の例
- Bの学業へのリスタートを助けたものは
 - ◇ソーシャルサポート(‘良縁の結び目’):
 - 教務窓口職員
 - 学生相談室(学生相談所、カウンセリングセンター)、
系の相談室の(相談員)名誉教授、
同様に過年度の学生たち

3

危機としての大学生期 躓きへの支援

- 事例C: 卒論作成で躓いた文系女子学生の例
- Cの躓きの助けとなったのは
 - ◇ソーシャルサポート(‘良縁の結び目’):
 - 学生相談室(学生相談所、カウンセリングセンター)
 - * 学習支援センターの機能

4

危機としての大学生期 躓きへの支援

- 事例D:就職と修士研究に躓いた理系学生の例。
- Dの躓きの助けとなったのは
 - ◇ソーシャルサポート(‘良縁の結び目’):
 - 家族、
 - 学生相談室(学生相談所、カウンセリングセンター)、
 - 地域活動支援センター、
 - 発達障害(児・者)支援センター、
 - 発達障害の若者の就労を支援するNPO

5

二方面の支援

- 躓きへの、予防的支援
 - 初期適応の支援
 - * 大学生活、大学での学びへの転換を支援
 - 中間期の学生生活の躓きを予防する支援
 - 卒業期の学生生活の躓きを予防する支援
- 躓き後の、リスタート(しきりなおし)の支援

6

支援の諸相：入学期

●入学期～初期適応の支援

* 大学生活、大学での学びへの転換を支援

- 知り合いを作る、履修相談～合宿型オリエンテーションなど
- 学生相談室、学習支援センター等学内資源の紹介
- 初年次予防教育：社会的スキルの授業、学生生活の危機予防の授業（「学生生活概論」）

7

支援の諸相：中間期

●中間期

- 単位取得不良学生、不登校学生への面談
⇒支援
- 特別支援授業の取組
- （自殺防止の取組）

8

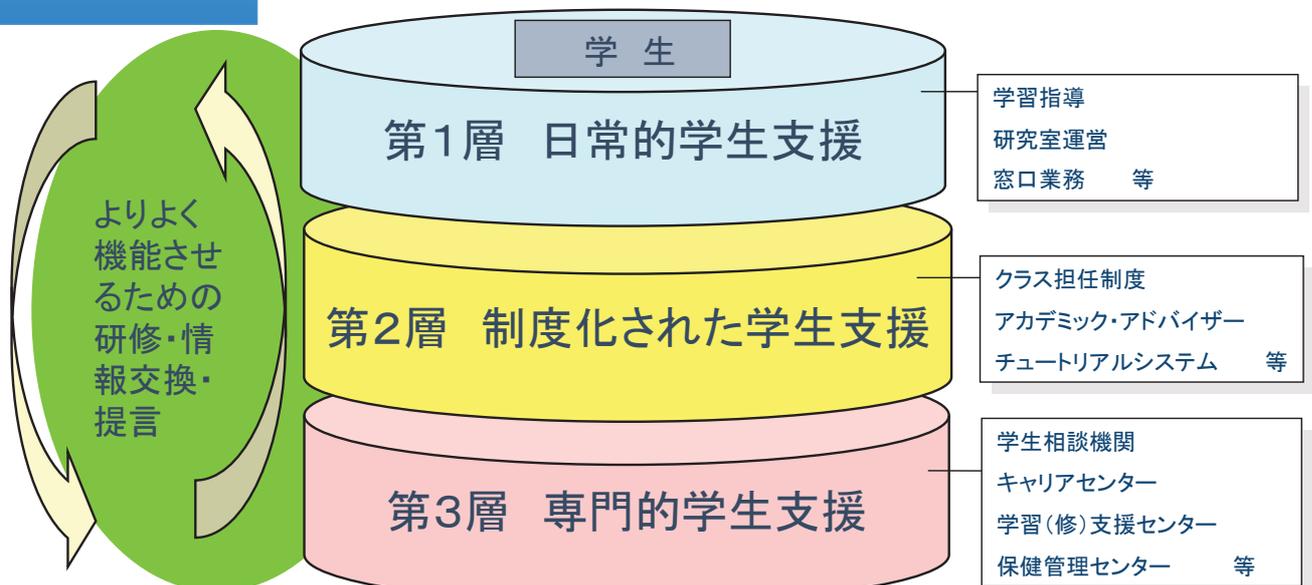
支援の諸相：卒業期

●卒業期

- 卒業研究の支援
- 就職活動へ向けた支援
- 卒業後生活移行支援

9

学生支援の 3階層モデル



日本学生支援機構『大学における学生相談体制の充実方策について』(2007)より

進められてきた第3層援助資源の整備 ～有機的連携による支援～

- 学内資源、制度
 - 教員による学習、履修相談(室)
 - 学習支援センター
 - 保健(管理)センター
 - 学生相談室(カウンセリングセンター、学生相談所)、何でも相談室
 - キャリア(支援)センター
 - 障害学生支援室(発達障害、身体障害、精神障害など)
- 学外資源
 - 発達障害(児・者)支援センター など

11

支援は

- 人が躓きを脱する契機は、「良縁結びの目」で
 - 学内援助資源、学外援助資源
- 集団プログラムによる支援と個別的支援
- 個別支援が実効的になるには、第3層だけでなく、制度化された支援(第2層)も必要
- 支援システムは、「心の通うもの、思いのこもったもの」となるように常に「インスパイア」させられなければならない
- 年々歳々の支援を実効的にするものは、「思い」をもつ人材の登用・配置

12

学生相談による支援と 教職員による支援の有機的連携

- 学生相談は、
- 学生の躓き、ニーズのセンサーの機能
- 教職員と有機的に連携して
必要な支援、望ましい支援の具体化を目指す